

小城市立岩松小学校
学校だより 第16号



岩松小だより

令和7年7月18日発行
発行者 校長 真子靖弘

夏休みに「正解のない課題」に挑戦しよう！

いよいよ明日から夏休みが始まります。学校での勉強から少し離れて、子どもたちが**自分の「好き」や「興味」**を深掘りできる**貴重な時間**となります。

夏休みが、子どもの個性を磨き、豊かな人生につながる学びの機会となることを願っています。



夏休みの課題には必修のものと選択できるものがありますが、ぜひ**「正解のない課題」**に積極的に挑戦してみたいと思います。例えば、**「佐賀県児童生徒ふるさと学習コンクール」**は、身近な地域や佐賀県の魅力について、自分でテーマを見つけ、調べ、まとめるという、まさに「正解のない」探究活動です。広用紙1枚にまとめるもよし、4年生以上であればプレゼンテーション形式で表現するもよし、自分の興味に合わせて自由に深掘りできます。

「学ぶ」ということは、ただ知識を覚えるだけではありません。それは、**「自分で疑問を感じ、自分で考え、自分で調べ、情報を編集し、解決する力」**です。知らなかったことを知る楽しさ、分からなかったことが分かるようになる喜び、そして自分の疑問に自分なりの答えを導き出すワクワク感こそが、**学びの本質**です。もし、学校や家庭での学びが、受験のためだけになってしまっていると感じるなら、この夏休みを機に、ぜひお子様と一緒に**「何のために学ぶのか」「学ぶことそのものの楽しさ」**についてじっくり話し合ってみてはいかがでしょうか。



この夏休みが、子どもにとって実り多く、楽しい学びの時間となることを心から願っています。

夏休み中の図書室利用について



今年の夏休みは、**熱中症対策**のため、図書室の利用時間を**午前9時から10時までの1時間**とさせていただきます。開室日は、以下の**5日間限定**です。

7/22(火)、7/29(火)、7/30(水)、7/31(木)、8/1(金)

お子様の安全のため、可能な限り保護者の方の送迎をお願いいたします。

「命」を守る行動を忘れずに！

夏休み中は、普段とは違う活動をする機会も増えるため、本日の終業式の**校長講話**では、**大切な「命」を守る行動**について話をしました。



残念ながら、日本では毎年14歳以下の子どもが**200人以上**も不慮の事故で亡くなっています。「まさか！」という事態は、誰にでも起こりえます。だからこそ、大人も子どもも、それぞれが安全への意識を高め、具体的な行動につなげることが重要です。

子どもたちが、9/1(月)に元気に登校してくるためには、ご家庭での声かけや見守りが不可欠です。本日の講話で取り上げた5つの危険とその対策について、ご家庭でも一緒に確認をお願いします。

〈5つの危険〉

- ①水の事故(子どもだけで川遊びはダメ)
- ②交通事故 ③熱中症 ④落雷 ⑤不審者

この夏休みが、お子さんにとって楽しく、そして何よりも安全な時間となることを心から願っています。

素晴らしい七夕飾り

6年生の創造的な活動には、本当に感心させられます。7/7の七夕に向けて、自ら円通寺さんに電話して竹を切りに行ったり、全校児童分の短冊を準備・配布して、一人ひとりに願いごとを書いてもらったりするなど、その**主体性と行動力**はまさに**「創造的な学び」**の素晴らしいお手本です。



この美しい七夕飾りは、7/7(月)より児童玄関の両脇に飾っています。全校児童の願いが込められた笹飾りに、みんなが心を和ませています。

さらに楽しみなのが、**2学期に6年生がこれらの願いの中からいくつかを叶えてくれる**というお話です。自分たちで企画し、実行するだけでなく、さらに後輩の願いを叶えようとするその温かい心と企画力に、大きな期待が膨らみます。

